

# 社会福祉法人精華町社会福祉協議会

## 令和元年度 第2回 理事会議事録

- 1 開催年月日 令和元年6月17日(月)  
午後4時40分～午後5時40分
- 2 開催場所 精華町地域福祉センターかしのき苑1階 会議室A・B
- 3 理事総数 12名
- 4 出席者氏名 (11名)  
理事 清水泰律 森 修美 早樫一男 岩前良幸  
長谷川 悟 石崎照代 中畔秀昭 福味加世子  
山本正來 岡田敦子 古海りえ子  
監事 島中秀司 浦田善之
- 5 欠席者氏名 理事 田中智美
- 6 議 案  
第14号議案 会長の選定について  
第15号議案 副会長の選定について
- 7 諸報告
- 8 議事の経過要領及び議案議決の結果  
定刻に至り、定款第30条の規定により議長に岩前良幸理事が選任され、議長は定款第31条第1項に定める定足数を満たしていることを確認し、議事に入った。

### 第14号議案 会長の選定について

議長より、役員改選に伴い、定款第19条第2項に基づき理事たる会長1名を選定するため、その選定方法について意見を求めたところ、以下のとおり意見があった。

意見：山本理事

平成27年度は選考委員会方式でおこなったが、平成29年度に理事の定数が減っている。人数が減っているため、選考委員会方式より自主投票のほうがそれぞれの意見を反映できると思う。

意見：森 理事

山本理事と同意見である。選考委員会方式では、選考委員に選ばれた場合の負担感を感じる。公平性や負担感を少なくする意味からも、自主投票方式が良いと思う。自主投票方式に賛成である。

以上の意見を踏まえ、選定方法を出席理事全員による投票とすることについて議長が承認を諮ったところ、全会一致により可決承認された。

互選にあたり議長から、1回目の投票で第1位の得票数が出席理事の過半数に満たなかった場合は、上位2名の決選投票とすることを説明し、投票に入った。

・開票結果 長谷川 悟理事9票 石崎照代理事2票

議長より、投票の結果に基づき、第1位の得票数が過半数を上回ったため、長谷川 悟理事を会長に選定することを告げた。長谷川理事は会長就任について承諾をした。

第15号議案 副会長の選定について

議長より、定款第19条第2項に基づき理事たる副会長2名を選定するため、その選定方法について意見を求めたところ、以下のとおり意見があった。

意見：山本理事

会長の選考と同様で、投票で良いのでないか。

意見：森 理事

私も同じ意見であり、賛成する。確認であるが、副会長については男女の区別はあるのか。

回答：議長

基本的に男女の区別はないが、過去においては男性1名、女性1名が選定されている。現在はいろいろな組織で男女共同参画が叫ばれており、組織における女性の比率を高めることも必要にはなっている。

以上の意見を踏まえ、選定方法を出席理事全員による投票とすることについて議長が承認を諮ったところ、全会一致により可決承認された。

互選にあたり議長から、副会長2名については、1名ずつ選定すること、また、会長に選定された長谷川理事は候補者から除く旨を説明し、投票に入った。

・開票結果 中畔秀昭理事8票 石崎照代理事2票 山本正來理事1票

議長より、投票の結果に基づき、副会長2名のうち1人目については、中畔秀昭理事を選定することを告げた。中畔理事は副会長就任について承諾をした。

引き続き議長から、2人目の副会長選定について投票をおこなうこと、また、長谷川理事と中畔理事については候補者から除く旨を説明し、投票に入った。

・開票結果、福味加世子理事 7 票、石崎照代理事 4 票

議長より、投票の結果に基づき、副会長 2 名のうち 2 人目については、福味加世子理事を選定することを告げた。福味理事は副会長就任について承諾をした。

議長より、決定した会長、副会長について次のとおり確認をおこなった。

- ・会 長 長谷川 悟（重任）
- ・副会長 中畔 秀昭（重任）
- ・副会長 福味加世子（新任）

#### 諸報告

議長の指示により、以下の事項について事務局長並びに担当課長から報告をおこなった。

事務局長から、地域福祉課として下記の 6 点について報告した。

- (1) 権利擁護・成年後見センターの開設
- (2) 令和元年度精華町社会福祉協議会会員募集
- (3) 令和元年度ファミリー・サポート・センター援助会員募集
- (4) 精華町ボランティア養成講座
- (5) 発達障がい～子どもと家族を地域で支える～講座
- (6) 精華町共同募金委員会からのお知らせ
  - ア) ふくしのまちづくり応援助成
  - イ) 「赤い羽根自動販売機」設置の呼びかけ

地域包括支援センター長から、地域包括支援センターとして下記の 2 点について報告した。

- (1) 南部地域包括支援センター事業実績
- (2) 在宅高齢者等介護者リフレッシュ事業実績

在宅介護課長から、在宅介護課として下記の 2 点について報告した。

- (1) 令和元年度居宅介護支援系の事業実績
- (2) 令和元年度訪問介護系の事業実績

通所介護課長から、通所介護課として下記の 1 点について報告した。

- (1) 令和元年度通所介護課の事業実績

以上をもって案件の全てを終了したので議長が閉会を宣し、午後 5 時 40 分散会した。

上記の決議を証するため議事録署名人において次に記名押印する。

令和元年6月20日作成  
社会福祉法人精華町社会福祉協議会  
令和元年度第2回理事会

会 長

印

監 事

印

監 事

印